

平成18年度  
**地区別懇談会開催**



学長挨拶 (中洲記念講堂)



柏校舎会場

平成十八年度二松学舎大学地区別父母懇談会が、七月二日(土)の高知市・大分市を始めとし、全国九都市(開催日程順に東京(九段校舎)・柏市(柏校舎)・山口市・広島市・仙台市・北上市・長野市)で開催された。

今年で十四回目を数えるこの懇談会は、父母会の主要事業の一つとして実施されています。今年には学長・副学長・学務局長・事務局長に加えて両学部長と大学職員が各地に赴き、本学学生の父母に大学の現況、本学の教育方針、将来計画等への理解・協力を求め、併せて学生個々の学習・生活・就職活動等についての説明や報告と意見交換が行われた。

本学九段校舎・柏校舎においては、就職コンサルタントの北井洋二氏による「平成十八年度の就職戦線を斬る！親は子どもをどう応援するか」と題した講演会を開催した。企業が学生に求める資質は、それに対して親は子供をどのように支援すればよいかなど、迫真迫る講演に参加した父母のメモを取る姿が見られた。

各会場では、参加者の関心が、学生の履修状況に関すること、就職状況に集中していたことが印象的であった。又、懇談会に出席することにより、大学の姿勢が理解できたとの感想も寄せられた。

二松学舎大学  
**父母会報**

平成5年5月10日創刊  
 平成18年10月10日発行  
 (第54号)

二松学舎大学父母会  
 (本館)東京都千代田区三番町6番地16  
 (事務局)千葉県柏市大井2590  
 〒277-8585 TEL.04(7191)8756

二松学舎大学柏校舎教務課  
 題字は  
 故 観山貞廣常吉先生書

七月二日の高知地区・大分地区別懇談会を皮切りに全国各地で懇談会が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

# 大分会場

中井 則夫

七月二日、大分市において地区別父母懇談会が開催され、本学より大山事務局長、五十嵐教学部長においでいただきました。また、父母は近郊より三名の参加となりました。大学の現況や学生の学習及び就職状況等の説明があり、気になる一つに在籍生の出身が近県に集中傾向にある、といえます。今後の課題となることでしょうか。昼食を摂りながら、新設九段キャンパスがビデオで紹介されました。午後からは多くの意見や質問が出され、大学側より丁寧な説明と回答をいただきました。でも父母の関心は子供の進路・就職で「卒業はしたけれど」にならないよう願っているところでした。定職に就かない若者が社会問題化している今日、自分自身が真に進むべき方向を選択できる能力を身につけて欲しいのです。大学の堅実な学風を貫きつつ、学生一人一人の希望進路に向けて、徹底



的に指導していただきたいと考えていますし、厳しさと優しさで人間を育てる唯一の教育機関であって欲しいと願っています。歴史と伝統に培われ、新しく整備された環境の中で送れる学生生活に、父母として感謝しています。これからも、二松学舎大学の発展をお祈り致しております。(国際政治経済学科一年)

# 高知会場

野村 貴子

七月二日、高知市で地区別父母懇談会が開催されました。当日は大学より副学長の渡辺教授、事務局より小林様、父母は四名の参加でした。まず、先生から大学の現在の様子についてお話があり、次いで、学習や就職状況についてお話がありました。また、VTRですばらしい九段キャンパスでの学生生活の様子を拝見しました。とくに、小学校教員免許状が取得可能になったこと、大学院でのカリキュラムの更なる充実が図られたこと、さらに海外留学について知り、現在の学生に与えた教育を常に考えていくべきなのだとわかりました。それから、昼食をはさんで懇談となりました。保護者からは生きる就職活動にあたってのキャリアセンターの皆様のきめ細かい支援への感謝が述べられました。先生からはこの時期、学生は進路に悩み、不安な気持ちもあるのだろうけれど、それを乗り越えてがんばってほしいとお話がありました。大学の皆様が親身になって温かく子どもたちを見守って



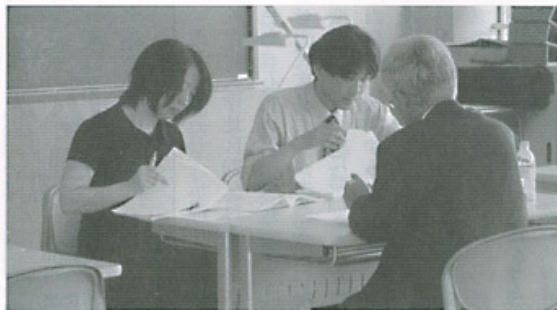
たいへんありがたく思いました。二松学舎大学では、高知から自由民権運動で活躍した中江兆民先輩が学び、また、多くの先輩が活躍です。これらの方々を習い、子どもたちにも精進してほしいと願っています。これからも、二松学舎大学の益々のご発展をお祈り致します。(文学部国文学科四年)

# 東京会場

西澤 敦子

七月八日九段校舎に於いて、地区別父母懇談会が開催されました。午前中は、個別相談や校舎内見学、昼食は、学生が利用する地下食堂で美味しく頂きました。学食のメニューも豊富で、栄養のバランスを考えたメニューが沢山並んでいました。午後からはじめに講演会が予定されており、中洲記念講堂にて(株)ディスコの北井洋二氏より『平成十八年度

の就職戦線を斬る』という演題で、昨今の就職環境や就職活動は私たちの時代と今では、大きく異なる点があるとの事、企業側が学生に求める人間像についても大きな変化があるそうです。就職活動は、子供だけが頑張るのではなく、親も一緒に悩み考え、しっかりサポート(応援)していかなくてはならない。と北井氏から改めて親の立場、就職活動の難しさを勉強させて頂きました。懇談会では大学より今西学長、各学部長・副学長・キャリアセンター事務部長・教学課係長の方々から、大学の現況・学生の学習状況や学生生活についてお話がありました。地区別懇談会に今年も群馬から参加させて頂き、子供から普段中々聞く事が出来ない学校の取り組みや、キャリアセンターの基本方針を改めて伺い、一人一人の生徒が希望する進路に向けてご尽力頂いている事が、よくわかりました。今後ご趣旨に沿って父兄として一層の努力をして参りたいと思います。(国際政治経済学科三年)



個別相談

# 千葉会場

酒井 雅信

七月十五日(土)、気温三十度を超える中、セミの声が聞こえる緑に囲まれた柏キャンパスで、二松学舎大学地区別父母懇談会が開催されました。一・二年生の父母を中心に約百名の参加がありました。大学側から、本年新たに小学校教員養成の道が開かれたこと、講演会等を開催して学生の啓発に努めていること、また、キャリアセンターからは、学生への就職活動の支援の方針等について説明があった。参加された父母は、熱心に聞いておられました。就職コンサルタントの先生の講演では、採用する企業側は、学生にコミュニケーションの能力を求めている、さらに会社業務の理解度などが必要としているとの説明があった。近年、インターネットによる就職情報及び会社情報を利用した就職活動が出来るので、大いに活用願いたい。また、就職活動中の多くの学生に、自立を前にして親の仕事への理解度が日に日に増していく様子が伺えるという興味深い話もありました。講演等を聞いて、これから親としてただ子供を見守るだけでなく、子供との率直な会話を通して、親としての意見も伝えながらより良い就職活動をしていかなければならない時期が来ているということを強く実感した次第です。(文学部国文学科一年)

# 山口会場

田中 公子

私にとって二松学舎大学の父母懇談会は、年間行事の一つです。二年次、子供の学習状況を聞く為広島へ、去年は就職情報収集の為、子供が通い始めた新設九段キャンパスへと足を運びました。そして今年、七月二十二日、地元山口での父母会に出席しました。

当日は、今西学長先生と柏教学課志村課長において頂き、父母は近郊より四名の参加となりました。最初に学校紹介ビデオを視聴し、学長先生から大学の教育方針と現況について説明がありました。続いて柏教学課長から学生の学習状況や生活について、就職状況等の説明がありました。その後昼食をとりながら、終始和やかな雰囲気の中たくさん質問や意見が出されました。その都度、先生方から丁寧かつわかりやすく説明回答して頂き、大学側の極細やかな学習指導や生活指導に一人一人の学生を大事にされているという姿勢がうかがい知れ、感謝の気持ちで一杯になりました。また個別相談の際にも、キャリアセンターのサポートの話の伺い、大学の親身な対応に感



めて勇気と希望を頂きました。日頃子供と離れて暮らしている為学校や子供の様子などわかりにくい点も多々ありますが、大学から送付される「お便り」やこのような父母会を開催して頂いていることにも感謝です。これからも、二松学舎大学と父母会がますますの発展をお祈りいたしております。  
(文学部国文学科四年)

# 広島会場

石橋 智子

七月二十三日、広島市において二松学舎大学地区別父母懇談会が開催されました。春、父母会からの知らせで、広島会場がある事がわかり大変嬉しく、すぐに参加を決めました。当日は、大学から今西学長、柏教学課長志村先生に御越し頂き、父母は島根県から一人と広島県から私で、二名の参加となりました。

大学側から大学の現況や学生の学習状況、学生生活、就職状況等の説明がありました。来年は百三十周年を迎えセレモニーが開催されるとの事で、良い機会ですのでその折りにもう一度、大学を訪れてみたいと思いました。また、一年に一度送られてくる成績通知書の見方や、どんな授業を受けているのか知ることのできる履修登録表の説明から、遠くで生活する子供の様子の一部でも知る事ができ、有難く思いました。

広島会場は全員で四名の小さな集まりですので、昼食を先生方と一緒に取りながらリラックスした雰囲気の中、先生方と父母双方からの話が弾み大変楽しく過ごす事ができました。会話の中から二松学舎大学は学



生の意欲に応えてくれる学校だと感じました。また、我が子を含めた学生達にも大学の期待に大いに応えてもらいたいと思いました。小規模な地区会も大切に考えて頂いた先生方に心より感謝申し上げます。これからも、二松学舎大学と父母会の発展をお祈り致しております。  
(文学部国文学科二年)

# 宮城会場

奈須野 文人

七月二十九日、仙台市において地区別父母懇談会が開催されました。本学より野村邦近文学部長、柏教学部副部長の高柳幸雄先生においていただきました。また、父母側は十名の参加があり、隣県からも多くの方が来仙、終始和やかな雰囲気の中に進められました。まず、参加者の自己紹介から、学年、学部学科も様々でしたが、どの方のお話からも二松学舎に対する信頼と期待の大きさを感ずることができました。

大学側からは、カリキュラムの内容、履修のシステム、進級・卒業要件等の説明。また、同規模校では他に類を見ない多数の専攻を設定していること、人間国宝の津村禮次郎先生の講義の紹介など、歴史と伝統を堅持すると共に、現在及び将来を見据えた大学のしつかりとした視点を感ずることができ、やはり二松学舎という印象を受けました。更に、

現在、多くの主要大学にその動きが見られる都心回帰への検討を二松学舎でも進めていることや、来年度から受験会場を地方にも設けること、推薦入試での指定校を大幅に増やす



こと等の紹介がありました。これらが地方での二松学舎の知名度の向上に結びつくことを願って止みません。最後に個別面談の時間が設定され、出席者にとっては充実した内容となりました。これからも二松学舎大学と父母会がますますの発展をお祈り致しております。  
(文学部国文学科一年)

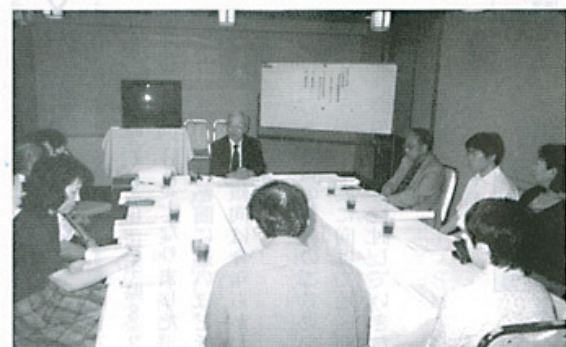
# 岩手会場

山崎 映子

七月三十日、北上市において地区別父母懇談会が開催されました。本学より大学代表の野村邦近文学部長、教育学部副部長高柳先生にお出でいただきました。また父母は、岩手県内各地より四世帯、七名の参加となりました。

大学側から大学の現況や学生の学習状況、就職状況等の説明がありました。入学式では、「大学生活四年で、ちゃんと就職する事。」と学生達に話されていました。その目標に向けてのきめ細かな学習指導とキャリアセンターのサポートをとても有り難く思います。また野村先生の飾らない性格も魅力的で、その話術にもひきこまれてしまいました。温かな感じの高柳先生とのコンビネーションも抜群で、ほのぼのとした中での懇談会でした。会にはベテランOB

二名の飛び入り参加もあり、本学の伝統と誇りを感じるお話も聞く事ができて良かったです。個別相談も、具体的にアドバイスをいただけただけで助かりました。大学は離れているのに、こうして個別相談を受けられるとは、もったいない話だと思います。改め



て感謝申し上げます。来年、どこかの会場で懇談会が開催されるかわかりませんが、また参加したいと思っております。会員の皆様もぜひ参加してみてください。これからも二松学舎大学と父母会のご発展をお祈りいたしております。  
(文学部国文学科一年)

# 長野会場

徳武 京子



七月三十日、長野市において地区別父母懇談会が開催されました。大学より学務局長、教学課長、係長の三名の先生において頂きました。父母は十六名の参加となりました。

まず、新設の九段キャンパスでの学生生活がビデオで紹介され、続いて、大学の現況や学生の学習状況、学生生活等の説明がありました。今の学生は、基礎体力が不足しており体調不良で朝起床できず、授業を欠

席する学生が多いとの事です。欠席が目立つ学生には、個別に生活指導を行っているとの事、とても有難く思います。就職指導では、キャリア教育、キャリアセンターの活用等、万全の体制でサポートして下さる様で、安心すると同時に、厳しい状況の中親子共に気を引き締めなければと改めて思いました。又、今年度より玉川大学と協定し、通信教育で小学校教諭免許取得が可能になり、三年生九名が受講中との事、教員採用試験の門が、より広がったという事で、大変うれしく思います。

父母からは、授業登録や履習について、質問・意見が出され、丁寧に説明して頂きました。学生はもちろん、保護者も、授業へ遠慮なく相談して下さいという言葉を頂き、とても心強く思いました。

懇談会では、きめ細かな指導がわかり、改めて二松学舎大学の良さを感じました。これからも、より良い御指導をお願いすると共に、二松学舎大学の御発展をお祈り致します。

(文学部中国文学科一年)

## 「平成十八年度地区別父母懇談会を終えて」

七月三十日(土)、長野会場(ホテル信濃路)の開催をもって、平成十八年度の地区別父母懇談会すべての日程を終了しました。

開催された九会場の全出席者は、二一三名、全会員の10.9%の出席率でした。在籍数に対する割合を開催別に見ると、大分11.5%、高知36.4%、東京11.2%、千葉9.4%、山口25.0%、広島12.2%、宮城12.5%、岩手14.9%、長野16.9%と、

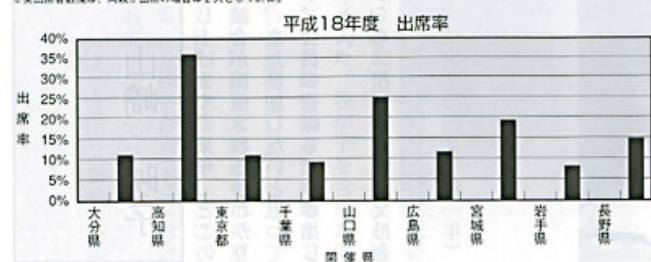
5%、宮城県19.6%、岩手県8.2%、長野県14.9%となりました。地方が高く、首都圏に近いほど低いという出席率の傾向は今年もかわりませんでした。

これからも会員の皆様のご意見を聞きながら、来年度に向けて地区別父母懇談会の内容を検討していきたいと思います。

平成18年度 地区別父母懇談会学年別出席者数

実施日	曜日	開催地	開催会場	4年	3年	2年	1年	合計	出席率	実出席者数
7月2日	日	大分県	大分第一ホテル	13	5	2	6	26	11.5%	3
7月2日	日	高知県	ホテルサルート高知	5	2	2	2	11	36.4%	4
7月8日	土	東京都	本学九段校舎	155	205	179	160	699	11.2%	101
7月15日	土	千葉県	本学柏校舎	254	269	231	225	979	9.4%	128
7月22日	土	山口県	ホテルニュータナカ	7	2	5	2	16	25.0%	4
7月23日	日	広島県	アーケホテル広島	7	2	5	2	16	12.2%	2
7月29日	土	宮城県	ホテル法華クラブ仙台	12	15	13	16	56	12.5%	2
7月30日	日	岩手県	北上プラザホテル	16	7	12	14	49	14.9%	13
7月30日	日	長野県	ホテル信濃路	33	24	17	27	101	8.2%	7
		合計		502	531	466	454	1953		16
				36	40	59	69	213	10.9%	278

※実出席者数欄は、両親が出席の場合は2人として計算。



就職はいまや、子供だけの問題ではない。家庭での精神的な支援が重要になっていきます。

### 一、昨今の就職環境

企業は、自社にあった優秀な人材を確保したい。厳選しながらも小数量から多数精鋭へと変わってきている。企業の採用戦略も早期化し、採用人数も多い。ネームバリューがある、イメージがいいなどという上場企業が強くなる。学生もそういったイメージで入った人が勝ち組、入らなかった人が負け組という表記になってしまふ。本来であれば何が勝ち組か負け組かは、本人の価値観ですが、それに気づかずイメージでおどらされてしまっている現状がこりこつある昨今です。

### 二、就職活動の今と昔

「団塊の世代」は売り手市場で採用が拡大だったので、当時すぐに就職活動をせず、働くことをじっくり考えて、本人がやりたい事をしてから就職につく、またやりなおす期間、猶予があった。一方、「ポスト団塊の世代」は、買い手市場で、就職活動は苦勞しているが、でも就職をすれば終身雇用や年功序列といった環境にあった。

現在は、競争原理の中で、終身雇用が崩壊して、人それぞれがしっかりとやる即戦力が求められている。勝ち負けといわれる中で、学生は就職

活動をしているわけで、求められているものが、シビアで頑張る人は頑張る。投げてしまふ学生は、もう戦うことをせざるに負けを認める。今は自分でなんとかしなさい。考えて会社に利益貢献しなさい。給料が安ければ、条件があわなければ転職してもいいですよ。会社が、責任をもたないという意味で個人と組織の関係が変わってきている。評価・教育制度も過去の枠組みの中で無理やり今のやり方をしようとしているのでゆがみが生じ、価値観がばらばらついてストレスがかかる。

## 平成十八年度就職戦線を斬る

親は子どもをどう応援するか

### 三、企業が求める人間像

新規採用は、経営状態への貢献、既存の事業を拡大するために増加する。技術革新への対応、研究開発の充実・販売促進など又企業は年齢や人員構成を適正化したいと思っている。文系の採用の枠が多いのは、営業ですが、営業をつらいと勘違いしている人が多いが、営業こそ最大のマーケティングである。企業を理解するための最高の職場だといいたい。営業がつかないというイメージのある学生に職種の不マッチがおきている。

企業が学生にどのようなスキルを

求めているか。コミュニケーション能力・熱意・バイタリティー・明るさ・専門知識・基礎学力などであるが、最近では、ストレス耐性をしっかりとみよるような流れになっている。企業は特別な事を求めているのではなく、普通に人として生きるあたりまえのスキルを求めているだけである。

現在は大学三年から就職試験をする中で、企業も学業の集大成をみることで、企業も学業の集大成をみることで、コミュニケーション能力や明るさ、まじめさ、ストレス耐性などを求めるを得ない所もある。

### 四、採用・就職スケジュールと就職活動で求められること

昔、大量採用の時代は四月に一括採用され、研修期間がありじっくり育てる環境にあった。今はそれができない環境である。市場は職種別、部門別に状態に合わせて採用を進めている所が多くなっている。スキルにあった人物を面接で求める。店舗の計画や実績によって変わってくるので、通年で人材がほしい時にとっている。又、企業は海外学生の採用、秋の採用をしている。それらの採用で間口を広げているのが今の企業の現状です。留学したら就職が困ってし

まうのではなく、優秀な人材であれば企業の方から門戸を開いてくれる。エントリーシートの共通のテーマは学生時代のエピソード・将来へのビジョン・会社の理解度・自己PRと志望動機は、必ず確認してくる。五年・十年後、短いスパンの中で何をしたいかというエントリーシートを増えている。企業は安心する材料を求めている。

### 五、家族がやってはいけないこと

サポートできること

やっつけてはいけない三つのことは①押し付け②過保護③無関心である。学生は日々成長しています。就職活動は自立の過程である。家族はやりすぎではないかなし、頼まれてやる分にはいいが、頼まれていない事はないかなし、むずかしい事だが、バランスよくやってほしい。

就職活動を人気グループS・M・A・Pにたてるなら、S・センス、今できることを大切に

する。

M・マナー、相手や企業に対する思いやりを大切に。

A・アクション・アクティブ、いき出来る仕事を探してほしい。

P・プレゼンテーション、背伸びせず正しく自分自身を相手に伝える。これらの事を伝え、そして納得してもらおうのが就職活動です。

(文責・父母会事務局)

# 第10回 中国語学研修 報告

## 語学研修報告書

北京大学歴史学系での語学研修も今年で第十回目を迎えた。八月二十四日から九月十三日までの二十一日間、二十名の学生が参加し、文学部武永尚子教授、張明輝教授にご引率いただいた。北京大学は、北京市西部郊外に位置する国立の総合大学であり、本学とは一九九九年に協定を締結した。本研修のみならず、交換留学生や教職員の定期的な相互派遣などを通して、活発な交流を展開している。中でも本研修プログラムは本学のために特別に組んでいたものである。十名ずつの少人数クラス、一日三時間半、全十五回の中国語授業だけでなく、充実しているが、加えて午後には歴史や文化に関する講義、故宮や万里の長城などの名所旧跡見学、伝統芸能鑑賞など盛り



北京・平安門広場

沢山の内容で、学生も中国語・中国文化漬けの毎日を楽しんでいた。さらに、北京大在學生との交流会、教員宅訪問といった日常生活に直接触れる機会にも恵まれ、通常の旅行では得がたい貴重な体験をすることができた。研修当初は戸惑っている学生もいたが、硬かった表情が日々和らぎ、徐々に適応でき、積極性が生まれてくる様子を目の当たりにし、引率者冥利に尽きる思いだった。短期間ながらも現地に赴き、生きた言語環境の中で学んだ経験や異国の地での生活を共にすることで築き上げた人間関係は、将来にも大いに活かされることだろう。来年も多くの学生の参加を期待している。

(国際交流センター 田村 悠)

## 「中国語学研修に参加して」

文学部中国文学科 二年 三木 咲瑞

私は、中国語に興味を持ち、中国語を学びたいという気持ちで語学研修に参加しました。勉強を始めて、まだ一年半ですが、現地でのどの自分の中国語が通用するのかわからない様子でした。また、北京大学での授業にもとても魅力を感じていました。中国に到着すると、中国語が四方八方から耳に飛び込んできました。私は会話のスピードに圧倒されてしまい、何を言っているのか聞き取れませんでした。授業でも、先生が何を言っているのか聞き取ることが大変で、必死になって耳を傾け理解しようとしていました。何処を歩いていても聞こえてくるのは、もちろん中国語です。そして日が経つにつれ中国語が耳に慣れ、授業の説明も聞き取れるようになってきました。私は、自分なりに少しは進歩したのかと思いきや嬉しくなりました。

中国で生活をしている間、中国語を使う機会が沢山ありました。料理を頼む時、品物を買う時、タクシーに乗る時など、様々な場面で話をする機会があったのです。

私は、最初自分から話すと言う事は



に戸惑いを感じていました。しかし話をしなければ、相手には何も伝わらないので、思い切って口を開きました。そして、一つ一つ中国語を使うことにより徐々に話すという事が楽しくなり、自分から積極的に話しかけることが出来るようになりました。お互いに会話を通じ合うようになった時には、本当に嬉しく良かったと思う気持ちでいっぱいでした。

三週間の語学研修は、一日一日が様々な体験や勉強でもとても充実してました。この研修で学んだことを基に、これからの生活や勉強に繋がっていきたいと思います。

**二松学舎大学 THE 創縁祭 2006**  
『楽しい！楽しい！無限大!!』  
開催日 平成18年11月4日(土)・5日(日)  
場所 九段キャンパス

平成十八年度学園祭実行委員会広報担当の小須田一樹です。九段の地に新校舎が完成して今年で三年目となりました。今までの経験を生かしつつ、新しい企画を考えております。本年の創縁祭に登場していただきたい方々が大きに楽しめるよう、今年のテーマを「楽しい！楽しい！無限大!!」と決定いたしました。「楽しい！楽しい！楽しい！」と言いますが、十人十色というように楽しみ方もそれぞれに「無限大」な訳です。今年、自分達の企画だけではなく、父母会の皆様方の企画、そして先生方を巻き込んでのゼミナールの企画と盛りだくさんです。在校生は勿論のこと、来場者の皆様方にも楽しんでいただけるものと確信しております。

今年の創縁祭「楽しい！楽しい！無限大!!」の企画内容は、恒例となりましたお笑いライブに前田健氏をお招きし、笑いあり、歌あり、ダンスありの三拍子揃いのライブを企画しております。また、翌日には三遊

亭楽太郎氏をお招きして「楽太郎独演会」を開催し、講演会・寄席を企画しております。老若男女誰もが知っている人気のある有名人をお招きしたので、来場者の層も広くなり、来場者数も増えることが予想されます。

さらに、去年好評を頂きました恒例の「スタンプリリー」や、豪華商品が当たる「大抽選会」、また、今年復活した元祖「男子ミスコン」、来場してくださった方だけが楽しめる「中庭ライブ」など、実行委員が総力を挙げて考え、全力で取り組んでおります。

前例のない盛り上がりを見せる創縁祭となるよう、また今までの先輩方が築いた創縁祭の歴史に恥じないものを創り上げるため、実行委員一同精一杯努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆さんのご来場を心からお待ちしています。

主な企画は次のとおり。  
◆文化発表・模擬店  
日時 11月4日(土) 11時~17時  
5日(日) 10時~15時  
場所 九段校舎 各会場

◆芸能人ライブ  
日時 11月4日(土) 12時30分~14時30分  
11月5日(日) 10時30分~11時45分  
場所 前田健 べるまゆ 大輪教授 HI-11

◆楽太郎独演会  
日時 11月5日(日) 10時45分~11時45分  
出演者 三遊亭楽太郎 三遊亭好二郎

◆大抽選会  
日時 11月5日(日) 11時45分~13時15分  
場所 中洲記念講堂  
抽選券配布 10時30分~11時30分の一時間の間に配布所で配布。  
(学園祭実行委員会)



## 父母会からのお知らせ。

父母会の無料 休憩所が

706号室・707号室

に設けられています。

ぜひお気軽にお立ち寄りください。

\* 無料のお茶・コーヒー等をご用意しています \*

### 《福井ゼミナール》

私達のゼミは、今年本学で最初に作られた情報関連のゼミです。三年生だけで情報処理、情報システム、情報科学、情報発信、情報倫理に関する情報のゼミです。各自が情報に関する分野から研究テーマを決め、世の中に役立つ製品開発を目標に取り組んでいます。製品開発では、独創的に倫理面や著作権等の情報に関する法律にも十分注意をして開発を進めています。社会の批判に耐えられるソフトの開発をしながらと指

### 《横須賀ゼミナール》

私達のゼミでは李白の詩を学んでいます。担当は横須賀老師です。昔、赤塚忠先生が主任になられ、若い諸君に勉強させるにはどうすべきか、経験上叱咤激励の効果は薄く、苦慮の末、ゼミを担当せよと思いついたり、三年生を若手、四年生を老生とされた。中世文学ゼミは李白老師に当たったそうだ。(四年生は中沢希男先生)李詩は、李白が好きで一番読んだと自負された内田白水先生に学ばれたとのこと。

一年生の時、十八史略の輪読会で、石川濯堂先生が、「八宗兼学」が大それたことも言われたのを銘記され、李白だけでは足りない、唐代に限っても詩聖の他、数多の詩人が居るぞよと言われる。田舎のお医者があちこち見立てるのを見習うようにしよう。伝説に、扁鵲、華陀というお医者がいるが、詩興って以来の最高峰李杜の見立ては難しいぞとも言われる。当時白水先生のゼミでは、古詩源・玉台新詠を取り上げたそうだ。(哲学は、小野沢精一先生の書経と左伝)。

## ゼミ探訪

橋川醉軒先生の「六朝文学」で、阮步兵がぶ飲み、陶彭澤はちびりちびりの質、李翰林は海量鯨飲と聞き、歴代酒を愛した詩人の中では、靖節先生が第一であろう。諸君よく覚えておけよのアドバイスもある。以上ゼミの一斑を紹介しました。三・四年の大事な時期、清浄な研究室で、卒業第一と目標を立て、私達はゼミ生同志の友愛を育てつつ、今日を頑張っています。(談)



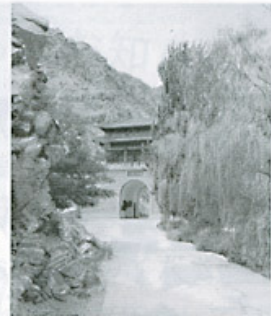
## キャリアセンターだより④

大学もいよいよ秋 semester になりました。四年生の進路状況については、公立学校教員採用試験一次合格者六名(他に既卒六名)公務員一次合格十一名、民間企業は就職希望者の七十%程が内定しております。(九月十五日現在)求人については、キャリアセンターに毎日企業の担当者が来訪しております。まだ内定していない、或いは教員・公務員志望から企業就職に切り換える四年生に対して誠意と熱意を持って対応いたします。キャリアセンターへ相談に行くようご指導下さい。

講数は二〇名程でした。秋は、九月二十八日の木曜日(三・四限)から毎週実施します。現在二〇名程が受講予定となっておりますが、途中からでも構いませんので、お子さんが受講していないようでしたらキャリアセンターにて受講を申し込むようお願い下さい。秋の講座は、本学学生が特に苦手としている筆記試験や役員面接対策を中心に行います。それから、お子さんの進路について親子で十分に話し合ってください。就職は一昔前とは異なり、本人だけで乗り切ることが難しい状況です。親の理解と協力があって初めて希望する進路に進むことが可能となるのです。進路について親子で話し合うことは何れも三年生だけではありません。二年生も一年生も学年に応じて卒業後の進路を話し合ってください。そして不明な点については、キャリアセンターにお問い合わせ下さい。いつでもお待ちしております。

八月二十四日から九月三日迄の十一日間、これ迄訪れることのなかった天山南路と西域南道の遺跡探査を父母会の御援助により実現することができ、この上もなく感謝している。ウルムチでは、これ迄ミイラ館であったものを昨年十月に改装した新疆ウイグル自治区博物館。新疆地方の旧石器時代から文革前期迄の文字文庫、彫刻品、木陶金属器、織物、食品、ミイラに至る資料により歴史、民俗、文化がわかる。クチャは唐代の安西都護府の置かれたところで、当時の龜茲故城址は土塁を残すのみである。この龜茲国の仏教文化の遺跡がキジルチ仏洞で、現在二・三窟があり、そのうち十七窟に貴重な壁画が残っている。また、塩水渓谷上に漢代から唐代にかけて開鑿されたクズルガハ千仏洞がある。壁画は金箔が剥ぎ取られ荒廃が激しい。この千仏洞の入口に高さ十三メートルの新羅最大のクズルガハ烽火台がある。この烽火台の東二十キロに、龜茲国最大の寺院跡スバシ故城がクチャ河を挟んで東西に寺院、僧坊、仏塔、石窟とともにある。トルファンでは、「西遊記」に登

場する火燭山、玄奘がインドに仏典を求める途中滞在した高昌故城。二つの河が交わる高台にある六世紀初めの車師前国の交河故城。高昌国、唐代西州の墓地群であるアスターナ古墳群。唐代高昌国から元代までの仏像壁画により当時のウイグル文化を伝えるベゼクリク千仏洞をみた。西安では、今年五月に地下遺跡博物館として開館した前漢の景帝の陵墓「漢陽陵帝陵外藏坑遺跡保護展示棟」。これにより前漢時代の宮廷文化がわかる。この他に、カシユガルの香妃墓、ホータンのマリカワト故城、コルラの鉄門関。そして六七〇キロ、七時間走り続けて一本の黒々とした公路があるだけのタクラマカン砂漠縦断公路は筆舌に尽くし難い凄さがあつた。



鉄門関

## 天山南路遺跡研修報告

教授 大地 武雄

秋の気配とともに新しい Semester が始まりました。大学生活が戻ってきてしばらくすると、なかには「少し疲れた」とベースダウンする学生さんがみられます。長い夏休みの間、自分のベースで有意義に過ごしていた生活を切り替えるために、気づかないところで意外にエネルギーを使っているのかもしれない。

生活リズムや環境の変化は、程度の差はあってもストレスの原因になることがあります。またストレスは、その原因や不快な感情をなくそうとするよりも、それとうまくつきあうことが大切だといわれています。

ストレスとのつきあい方にはいくつかのコツがあります。まず一番大切なのは、たとえば「疲れている」という今の自分の状態を認めることです。それができたら、自分で疲れた自分に「お疲れさま」などねぎらいの言葉をかけてあげられるといいかもしれません。たったこれだけのことですが、疲れた気持ちがあふくと軽くなることは多くの人が経験しています。もちろん、この方法がいつでも誰でもうまくいくわけではありません。ストレスとのつきあい方は他にもいろいろあります。しかし、その時々自分に合ったストレスとのつきあい方を見つけることは、日常生活でのこころの柔軟さを自分で維持する練習になります。

学生相談では、来談した学生さんと一緒に試行錯誤しながらストレスとのつきあい方を探すお手伝いをするものが多くあります。ご本人だけでなく、ご家族からの相談、お電話での相談もお受けします。どうぞお気軽にご利用ください。

**学生相談室**

**だより 54**

カウンセラー 松平 友見

◆直通電話  
九段03(3265)3760  
柏04(7191)8796

- シンポジウム「論語」**  
テーマ…素説と日本人の教養  
日時 平成18年11月25日(土)  
10時00分～16時30分  
会場 本学九段校舎 中洲記念講堂
- ◆報告  
戸川芳郎 (本学名誉教授)  
小池喜明 (東洋大学教授)  
緑川佑介 (本学教授)  
尾崎 護 (矢崎科学技術振興記念財団理事長)
- ◆座談会  
出席者 陳舜臣 (作家)  
加藤 徹 (広島大学 助教授)  
竹下悦子 (本学教授)
- 国際政治経済シンポジウム**  
テーマ…日本と東アジアの対話―東アジア・トライアングル(日・中・韓)のダイナミクスと中国市場を機軸とした関係強化―  
日時 平成18年12月2日(土)  
12時30分～18時30分  
会場 本学九段校舎 中洲記念講堂
- ◆政治セッション  
宋成有 (北京大学教授)  
田中 均 (東京大学客員教授、前外務審議官)
- ◆趙宏偉 (法政大学教授)  
伊藤一彦 (宇都宮大学教授)  
◆経済・ビジネスセッション  
歐柄隆 (Frontier(鴻海)代表)  
アンジェロ・ボンツエッタ (在日スイス会議所会頭)  
卓振偉 (株)大昌貿易行 代表取締役社長  
浦上 清 (元日立香港社長)  
※詳細は、次の各課にお問い合わせください。
- 「論語」シンポジウム  
「国際政治経済」シンポジウム  
柏教学課 〇四(七一九)八七五三

**編集後記**

父母会報第五四号をお届けします。さて、今回も父母懇談会について報告します。夏休みに全国九会場で開催された父母懇談会の参加者は213名、参加率11%。内訳は東京78、千葉92、大分3、高知4、山口4、広島2、宮城11、岩手4、長野15。開催必要経費143万円。通信費等含め計190万円。一人参加したために約9千円がかかった計算。経費が高いか安いかわからないところですが、東京・千葉でアンケートをお願いしたところ、82名の回答を得ました。それによれば、両会場で開催を受けた方は20名、学食体験は77名、味がよいは32名、値段が普通と安いで75名でした。自由記入については次回に紹介いたします。また、各会場の報告原稿を執筆いただいた会員の皆様、有難うございました。

本学の「創縁祭」に毎年父母会は参加しています。首都圏からしか見にくることは出来ないでしょうが、どうか11月4日(土)・5日(日)に九段校舎までお出かけ下さい。7Fの706・707号室です。お茶とおしゃべり、特に「何でも相談」をしています。役員がニコニコと待っています。去年は200名以上来てくれました。去年は読者の皆様、ご健勝で。